

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 CKD株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舟橋 典孝 (TEL) 0568-74-1006
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	54,233	26.3	5,845	40.8	5,896	45.4	4,268	52.4
29年3月期第2四半期	42,943	△4.9	4,151	△3.7	4,056	△4.4	2,801	△4.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 5,651百万円 (1,255.8%) 29年3月期第2四半期 416百万円 (△77.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
30年3月期第2四半期	円 銭 68.94	円 銭 —
29年3月期第2四半期	円 銭 45.25	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
30年3月期第2四半期	百万円 117,327	百万円 75,674	% 64.4
29年3月期	106,361	70,957	66.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 75,560百万円 29年3月期 70,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	円 銭 —	円 銭 14.00	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 30.00
30年3月期	—	17.00			
30年3月期(予想)			—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	17.0	11,800	23.2	11,800	20.8	8,300	19.3	134.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期2Q	68,909,449株	29年3月期	68,909,449株	
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	6,993,497株	29年3月期	6,992,734株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期2Q	61,916,463株	29年3月期2Q	61,917,067株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成29年11月1日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
〔生産、受注及び販売の状況〕	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善から個人消費は堅調に推移し、緩やかに回復いたしました。

企業収益は輸出の拡大による売上増加や円安基調の継続により改善し、設備投資も労働人口減少に対応する合理化・省力化に向けた自動化投資が進み増加いたしました。

また、海外経済は、米国では雇用情勢の改善から個人消費は引き続き堅調に推移いたしました。欧州では金融緩和策などから回復に向かいました。中国では政府の抑制策によりインフラ投資の伸びには鈍化があったものの、個人消費が下支えし底堅く推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高54,233百万円（前年同四半期比26.3%増）、営業利益5,845百万円（前年同四半期比40.8%増）、経常利益5,896百万円（前年同四半期比45.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,268百万円（前年同四半期比52.4%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

自動包装システムでは、薬品自動包装システムの売上が増加いたしました。

産業機械では、三次元はんだ印刷検査機、リチウムイオン電池製造システムともに売上が減少いたしました。

その結果、売上高は7,376百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は研究開発費の増加及び一時的な保守点検費用の影響もあり391百万円（前年同四半期比60.9%減）となりました。

② 機器部門

国内市場では、微細化や3Dメモリーへの投資が続く半導体製造装置向け、内外需ともに好調な工作機械向けやFPD製造装置向けの売上が増加いたしました。

海外市場では、半導体の設備投資が好調な韓国、情報通信機器や二次電池に加えて自動化などの設備投資が続く中国を中心に売上が増加いたしました。

その結果、売上高は46,856百万円（前年同四半期比30.8%増）、セグメント利益は7,671百万円（前年同四半期比53.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10,965百万円増加の117,327百万円となりました。これは主に、現金及び預金並びに有価証券が減少したものの、売上債権、たな卸資産及び有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,249百万円増加の41,652百万円となりました。これは主に、未払賞与及び未払法人税等が減少したものの、仕入債務、借入金、賞与引当金、前受金、設備関係未払金及び繰延税金負債が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,716百万円増加の75,674百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント減少の64.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べ3,089百万円減少の10,815百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は2,032百万円（前年同四半期比55.9%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5,999百万円、減価償却費1,915百万円、賞与引当金の増加2,256百万円、前受金の増加903百万円による資金の増加、未払賞与の減少2,021百万円、たな卸資産の増加4,930百万円、法人税等の支払額2,245百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は2,858百万円（前年同四半期比25.6%増）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入826百万円による資金の増加、有形固定資産の取得による支出3,106百万円、無形固定資産の取得による支出862百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は2,356百万円（前年同四半期比84.5%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,500百万円、配当金の支払額987百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績及び国内外ともに好調が続く機器の受注環境を勘案し、平成29年7月28日に発表いたしました通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

なお、平成29年10月1日から平成30年3月31日までの期間における為替レートは1米ドル110円を前提としております。

平成30年3月期 通期 連結業績予想数値の修正
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 105,000	百万円 11,600	百万円 11,600	百万円 8,200
今回修正予想 (B)	110,000	11,800	11,800	8,300
増減額 (B - A)	5,000	200	200	100
増減率 (%)	4.8	1.7	1.7	1.2
(参考) 前期実績 (平成29年3月期)	94,012	9,580	9,771	6,958

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

なお、該当予想数値の修正に関する事項は、本日（平成29年10月30日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,336	11,261
受取手形及び売掛金	23,758	24,081
電子記録債権	3,693	5,602
営業未収入金	263	262
有価証券	1,000	—
商品及び製品	5,526	8,732
仕掛品	3,956	3,501
原材料及び貯蔵品	14,472	17,547
その他	2,976	3,140
貸倒引当金	△99	△124
流動資産合計	68,883	74,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,517	12,583
その他(純額)	15,544	18,413
有形固定資産合計	27,062	30,996
無形固定資産	1,756	2,721
投資その他の資産	8,658	9,604
固定資産合計	37,477	43,321
資産合計	106,361	117,327
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,774	16,095
電子記録債務	1,385	1,802
短期借入金	1,352	1,801
1年内償還予定の社債	—	62
未払法人税等	2,406	1,735
賞与引当金	227	2,586
その他の引当金	346	454
その他	9,152	9,081
流動負債合計	29,645	33,620
固定負債		
社債	—	216
長期借入金	2,250	3,576
その他の引当金	75	75
退職給付に係る負債	258	360
その他	3,173	3,803
固定負債合計	5,758	8,032
負債合計	35,403	41,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,372	12,372
利益剰余金	49,723	52,991
自己株式	△4,906	△4,907
株主資本合計	68,206	71,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,653	3,431
為替換算調整勘定	1,323	1,795
退職給付に係る調整累計額	△1,225	△1,140
その他の包括利益累計額合計	2,751	4,087
非支配株主持分	—	113
純資産合計	70,957	75,674
負債純資産合計	106,361	117,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	42,943	54,233
売上原価	29,701	36,823
売上総利益	13,241	17,409
販売費及び一般管理費	9,090	11,564
営業利益	4,151	5,845
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	68	75
その他	142	187
営業外収益合計	222	270
営業外費用		
支払利息	19	35
売上割引	69	75
持分法による投資損失	—	47
為替差損	172	1
その他	54	58
営業外費用合計	316	218
経常利益	4,056	5,896
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	75	3
負ののれん発生益	—	149
補助金収入	55	6
特別利益合計	133	163
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	9	53
固定資産圧縮損	54	6
特別損失合計	67	60
税金等調整前四半期純利益	4,122	5,999
法人税、住民税及び事業税	1,532	1,646
法人税等調整額	△211	36
法人税等合計	1,321	1,682
四半期純利益	2,801	4,316
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,801	4,268

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	2,801	4,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△855	777
為替換算調整勘定	△1,610	469
退職給付に係る調整額	81	85
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2
その他の包括利益合計	△2,384	1,335
四半期包括利益	416	5,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	416	5,604
非支配株主に係る四半期包括利益	—	47

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,122	5,999
減価償却費	1,891	1,915
持分法による投資損益(△は益)	—	47
負ののれん発生益	—	△149
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,882	2,256
未払賞与の増減額(△は減少)	△1,772	△2,021
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	93	78
売上債権の増減額(△は増加)	△135	△742
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,023	△4,930
仕入債務の増減額(△は減少)	175	518
前受金の増減額(△は減少)	1,370	903
その他	401	354
小計	6,005	4,229
利息及び配当金の受取額	82	84
利息の支払額	△20	△36
法人税等の支払額	△1,459	△2,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,607	2,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	1,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,620	△3,106
無形固定資産の取得による支出	△710	△862
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	826
その他	54	283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,275	△2,858
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△57	△194
長期借入れによる収入	—	400
長期借入金の返済による支出	△385	△1,500
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△803	△987
その他	△30	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,277	△2,356
現金及び現金同等物に係る換算差額	△432	93
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	622	△3,089
現金及び現金同等物の期首残高	10,342	13,905
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,965	10,815

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,107	35,835	42,943	—	42,943
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	46	46	△46	—
計	7,107	35,882	42,989	△46	42,943
セグメント利益	1,000	5,004	6,005	△1,854	4,151

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,854百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,870百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,376	46,856	54,233	—	54,233
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	43	43	△43	—
計	7,376	46,900	54,277	△43	54,233
セグメント利益	391	7,671	8,063	△2,217	5,845

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,217百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,234百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間より、日機電装株式会社(平成29年6月1日付でCKD日機電装株式会社に商号変更しております。)の株式を取得し連結子会社としたことにより、「機器部門」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に負ののれん発生益149百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

3. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	10,656	+17.3
機器部門	48,999	+37.5
合計	59,655	+33.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	8,484	△16.2	11,688	△17.4

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
自動機械部門	7,376	+3.8
機器部門	46,856	+30.8
合計	54,233	+26.3

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。